



平成 28 年 5 月 16 日

各 位

会 社 名 アジアグロースキャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 小川 浩平
(コード番号 6993 東証第2部)
問合せ先 総務部長 岩瀬 茂雄
(TEL. 03-3448-7300)

平成 28 年 3 月期の連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 27 年 11 月 26 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）通期の連結業績予想値と、本日公表の平成 28 年 3 月期の連結実績値において、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	親会社株主に 帰属する 1 株 あたり当期純 利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,894	2,077	1,420	434	5.38
今回実績値 (B)	20,165	1,755	969	99	1.28
増減額 (B - A)	△729	△322	△451	△335	
増減率 (%)	△3.5	△15.5	△31.8	△77.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	17,237	2,501	2,053	698	9.00

2. 差異の理由

大黒屋において、平成 27 年 7 月のチャイナショック以降の免税需要の減速や昨年末のいわゆる「爆買いの禁止」とも言われるような中国政府の姿勢の影響により、下期の高額品の売れ行きが平成 27 年 11 月 26 日時点における想定以上に鈍化し、大黒屋の売上高が 757 百万円下方となったことや、大黒屋の六本木店のオープンやメディア露出増加に伴う広告宣伝費の増加、ネット事業強化のための業務委託費の増加といった積極的な営業活動を平成 27 年 11 月 26 日時点の想定を上回るペースで実施したこと、オープン前（町田店・福岡天神店）の大黒屋店舗の地代家賃が当期中に発生したこと、並びに海外子会社買収後の当社一般管理費が当初想定より増加したことが要因です。

以上